

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
メディカルアロマセラピーⅡ Medical Aromatherapy II		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	医療事務・メンタルヘルスフィールド学生対象
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	木・金 (授業時間と学生相談時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
天然の植物から採れる精油を使って行うアロマセラピーは、日本ではリラクゼーション分野から始まったが、近年では代替・補完医療としても認知されるようになってきている。この授業では、1年次の「メディカルアロマセラピー」で学んだ知識や体験を基礎に、アロマセラピー検定を受験する知識や精油の使い方を講義と実習を通じて学ぶ。				
授業の目標				
①アロマセラピーについて説明できるようにする。②精油の使い方を説明できるようにする。③香りが心身に与える影響を理解し、生活に活用できるようにする。④アロマセラピー検定を受験する知識を得ることができるようにする。				
授業の方法				
講義と実習。				
学習の成果 (学習成果)				
①アロマセラピーとその利用分野について説明できる。②精油の使い方を説明し、安全に使うことができる。③心身の健康や日常生活にアロマセラピーを役立てることができる。④アロマセラピー検定を受験する知識を得ることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス アロマセラピーについて 香りのイメージ体験			
第2回目	アロマセラピーのメカニズム			
第3回目	精油の基礎知識			
第4回目	精油のプロフィール①		小テスト①	
第5回目	精油のプロフィール②			
第6回目	精油のプロフィール③			

第7回目	精油の安全な使い方	小テスト②
第8回目	アロマテラピー利用法①	基材と用具 ルームスプレー作り
第9回目	アロマテラピー利用法②	沐浴法 吸入法 湿布法
第10回目	アロマテラピー利用法③	トリートメント法
第11回目	アロマテラピーと健康	バスソルト作り
第12回目	アロマテラピーの歴史①	クレイパック作り
第13回目	アロマテラピーの歴史②	スキンローション作り
第14回目	アロマテラピーと地球環境	小テスト③
第15回目	アロマテラピーに関する法律	
事前・事後学習	テキストを通読する。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	授業に意欲的に取り組む。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	知識を問う正誤問題の小テストを実施する。
試験	40%	検定類似問題を実施する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書 「アロマテラピー検定 公式テキスト 1級」 （日本アロマ環境協会）		
履修上の留意点・ルール		
毎回教科書を持参する。実習のための材料費は自己負担である（4,000～5,000円）。		